

# 視聴覚教育

NO. 432

発行日

29. 6. 1

編集・発行

岡崎市AVL

編集協力

現職研修委員会

学習情報部

## これ知ってる!?

### 『スクラッチ』

マサチューセッツ工科大学が開発した、プログラミング学習ツール。命令を表す色付きのブロックを並べかえることで、キャラクターに様々な動きをさせることができる。命令の組み立てを視覚的につかめ、小学生でもプログラミングの基礎を学ぶことができる。

## Ⅱ 視聴覚教育あれこれⅡ 平成二十九年 度 学 習 情 報 部 方 針 決 定 !

### 研究主題

主体的・対話的で深い学びを実現し、情報社会をよりよく生きる資質・能力を育成する、視聴覚・情報教育を目指して

### 研究の重点

- ① 情報活用能力の育成  
情報モラルを含めた、情報社会をよりよく生きるための資質・能力の育成
- ② 授業における効果的なICTの活用  
ICTの効果的な活用を通じた、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた実践研究
- ③ 校務の情報化の推進  
ICT活用による効率的な校務の実現と、教師のICT活用力の向上

### 各主任部会の活動

#### 〔広報部会〕

月報「視聴覚教育」の編集協力

「視聴覚・情報教育の手引き」の編集協力

「岡崎の視聴覚・情報教育」の編集協力など

#### 〔研修部会〕

各種研修会の計画・実施

校内研修の推進と実績報告

視聴覚ライブラリー保有教材活用の研究 など

#### 〔実践部会〕

ICTを活用した授業実践と報告

情報モラル教育の授業実践と報告

自作教材の活用と事例の集積 など

### 「視聴覚・情報教育の手引き」第22集

機器の利用法やICT活用授業実践など、役立つ情報が満載

です。OKタスクの使い方など、

最新情報も掲載しています。

**次期学習指導要領に向け一歩を踏み出す  
現職研修委員会学習情報部長 本間 茂夫**

平成二十九年 度 が スタート し、早二か月が過ぎました。私の勤務する男川小学校でも、先日運動会が行われ、子供たちが力いっぱい演技や競技を披露しました。各校でも順調に日々の教育活動が営まれていることだろうと思います。

さて、昨年度末に次期学習指導要領が告示されました。小学校では二〇二〇年、中学校では二〇二一年の完全実施に向け、いよいよ準備が本格的に始まります。次期学習指導要領では、情報モラルを含めた情報活用能力が、言語能力や問題発見・解決能力と共に、全ての学習の基盤となる資質・能力として位置付けられるなど、より重要性が増しています。また、各教科・領域の授業では、これまで以上にコンピュータや情報ネットワークなどの情報通信技術の積極的な活用が求められており、今後視聴覚・情報教育が果たすべき役割は、ますます大きくなると言えます。また、小学校で必須となるプログラミング教育に関しては、その趣旨や実践がまだ見えづらい部分もあり、不安な思いをもたれる先生方も多くいるのではないかと思います。

先日、学習情報部では、プログラミング教育の第一人者である青山学院大学教授の阿部和広先生を講師としてお招きし、自主研修会を開催しました。講話の中で阿部先生は、「スクラッチ」によるプログラミングの体験を通して、各教科の授業で子供が主体的・対話的に学んだ事例を示されました。プログラミング教育では、コンピュータ言語によるコーディングを学ぶのではなく、物事を論理的に考えるプログラミング的な思考を、授業を通して身に付けることが大切だと再認識しました。

子供たちは生まれた時からデジタル機器に囲まれて育ち、その依存傾向がますます強まっているのが現状です。だからこそ、子供がプログラミング的な思考を生かし、コンピュータを意図的に操る経験を積むことはとても大切なことです。各授業でプログラミング的な思考を意識して、問題解決に取り組むことは、子供たちがこれからの情報社会を自立的に生きる力の育成にもつながると考えます。

プログラミング教育も含め、まず次期学習指導要領の趣旨を理解し、実践に向けて一歩を踏み出すことが大切です。本年度が、その準備を進める一年となれば、嬉しく思います。



Ⅱ平成二十九年年度 学習情報部組織Ⅱ  
部長

本間 茂夫 (男川小)  
名倉 嘉章 (新香山中)  
小田 哲也 (愛宕小)  
森 竜師 (竜谷小)



教育委員会担当主事

川本 祐二 (総務課 学校情報係)

視聴覚ライブラリー所長補佐

内田 雅之 (社会教育課 視聴覚ライブラリー)

指導員

村田 貴志 (井田小) 近藤 雄一 (六南小)

世話係

杉山 康子 (六北小) 成瀬 正和 (羽根小)  
鈴木 広樹 (額田中) 太田 尚志 (北中)

各部世話係

〔広報部会〕

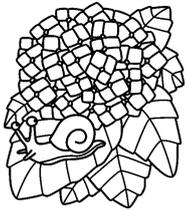
鈴木 広樹 (額田中) 太田 尚志 (北中)  
中山美奈子 (竜南中) 岩川 皓司 (葵中)

〔研修部会〕

成瀬 正和 (羽根小) 高瀬 玲子 (愛宕小)  
鈴木 一史 (竜海中) 水野 利明 (矢作中)

〔実践部会〕

杉山 康子 (六北小)  
服部 将也 (梅園小)  
藤渕 俊旭 (矢北小)  
荒井奈穂子 (岩津小)



各種大会  
・研究会の案内

《研究会》(主なもの)

- ・三教研ICT活用研修会 (八月)
- ・県放送教育特別研究大会 (八月)
- ・県学校視聴覚教育研究大会 (十月)

《研修会》

- ・授業力アップセミナー (八月)

※この他に学習情報部の自主研修会 (TAV) や、OKサインの電子会議室を利用した「教育情報化リーダー育成研修」も予定されています。ぜひ、ご参加ください。

《研究論文》

- ・ちゅうでん教育振興助成、ちゅうでん教育大賞 (六月十二日締切)
- ・ICT夢コンテスト (例年九月下旬締切)
- ・パナソニック教育財団実践研究助成 (例年一月下旬締切)

※県や市の教育論文をはじめ多くの機会があります。日頃の実践成果をまとめてみましょう。

《コンクール》

- ・ふるさと岡崎メディアコンクール
- ・愛知県自作視聴覚教材コンクール
- ・全国自作視聴覚教材コンクール
- ・スズキ教育ソフト「キューブ活用コンテスト」
- ・ジェイアール四国コミュニケーションウェア「コラボ実践コンテスト」

《児童・生徒のコンクール》

- ・NHK杯全国中学校放送コンテスト愛知県大会
- ・日本こども映画コンクール
- ・パナソニックKWN日本コンテスト

ライブラリーだよ

所長

小野 鋼二

所長補佐

内田 雅之

職員

鳥居 貴浩 岩尾 誠  
西村 知江 鶴田 真紀



平成二十九年年度もどうぞよろしく願います。視聴覚ライブラリーでは、社会教育・学校教育関係者に次のような支援を行っています。積極的に御相談、御利用ください。

●機器・教材の貸出し

十六ミリフィルムからDVDまで教材を四千本以上所蔵しており、巡回郵便を利用した受取や返却が可能です。授業だけでなく、各種行事や昼の校内放送用としても御利用ください。機器・教材の検索・予約は、視聴覚ライブラリーのホームページから行えます。

●映像の編集・制作に関する支援

視聴覚ライブラリーでは、映像制作や編集に関する様々な支援を行っています。学校行事で撮影したビデオ映像の編集、デュプリケーターの使用によるDVD・CDの複製(著作権上問題のないもの)などが可能です。

●情報モラル出前講座

視聴覚ライブラリー職員を派遣して、情報モラルに関する講演や研修等を行います。ネット社会の危険な現状を児童生徒や保護者に伝えたり、トラブルに巻き込まれないための具体的な方法について説明したりします。